

### 第3回益城町まちづくり専門委員会【議事概要】

- ◆ 開催日時 平成30年3月14日（水）13:30～15:00
- ◆ 開催場所 益城町役場仮設庁舎議会棟2会議室
- ◆ 出席者数 出席14名
- ◆ 議事次第
  1. 開会
  2. 挨拶
  3. 議題
    - ① 復興まちづくり計画（案）について
      - （ア） 全体構成
      - （イ） 各章の内容
    - ② 避難路・避難地（3地区）の追加
      - （ア） 福原北部地区
      - （イ） 辻団地地区
      - （ウ） 平田地区
    - ③ 避難路、避難地の事業進行について
  4. 閉会

#### ◆ 議事要旨

- 復興まちづくり計画【避難路・避難地編】（案）の説明（議事次第3・①）  
事務局より、資料1に沿って説明

#### 【委員質疑】

- P18に東無田地区が載っていない。提案があっていないのか？
  - ✓ 東無田からは公営住宅と公園の提案を頂いている。公園は、避難地か公園かを整理している段階。
- 東無田について、ランドデザインとして提出されているが、まちづくりの内容となっているので、「避難路避難地の記載がないため」などの但し書きを書いた方がいいのでは。  
P18の内容についてももう少しあった方がいい。こういった基準、優先順位について記載すべき。記載しなかった理由や委員会開催のプロセスを記載した方がいい。
  - ✓ まち協全体について記載する。
  - ✓ 検討の経緯、選定理由は計画書に載せるか、別途資料とするか、検討する。
- 川内田地区の要件は、何が該当しなかったのか。

- ✓ 小規模住宅地区改良事業の採択要件に、不良住宅率がある。15戸以上、50%以上という要件に合致しない。
  - P13に避難場所一覧があり、31番にグラウンドが避難場所に上げられている。今回の地震時に、応援隊の待機場所になった。災害時には消防隊の活動拠点になるので、初動期の避難場所としては不適である。
    - ✓ 今後、地域防災計画の整合を図る。
  - 地区別の計画は載っているが、町全体のことはどこに記載されているのか。全体→個別とまとめた方がいい。まち協が未設立の地区の奮起にもつながる。
    - ✓ 次回委員会までに掲載方法を検討し、次回示すこととする。
- 避難路・避難地（3地区）の追加（議事次第3・②）
- 事務局より、資料2に沿って説明。（以下概要）
- 福原北部地区
    - ✓ 路線の拡幅、避難地の提案が上がっている。A路線は田中橋の整備も含めて考えている。
    - ✓ 避難地は第5保育所跡地の提案が上がっている。第5保育所は、別場所で建替えが決まっているが、一方で崩れた擁壁等、メドが立っていない状況であった。地区に相談後、子供の遊び場および避難地として整備する希望があった。
  - 辻団地地区
    - ✓ まちづくり提案と都市計画道路が複合した地区である。
    - ✓ A路線は宮園地区からの提案もあり、崩壊箇所はすでに測量に入っている。その他は都計道との関連をみて整備を考える。
    - ✓ B路線、およびF路線は避難路・避難歩道として整備する。
    - ✓ 既存公園の再整備については、都計道に関連して公園面積減が想定される。よって別場所を地区の避難路として逆提案したい。
  - 平田地区
    - ✓ 6行政区からなるまち協である。
    - ✓ 黒石崎地区について。地域防災がけ崩れ事業で擁壁復旧される。それに伴って幅員が広がるので、その事業での対応とする。
    - ✓ B・E・G・Hは計画に記載する。L・M・Nの道路は、地区の幹線道路という意味合いが強いので、今回の避難路事業からは除外した。
    - ✓ 提案の避難路は住宅や農地との調整の必要がある。

## 【委員討議】

### 平田地区の提案事項について

- A道路は国の事業と重なっている。現状としては、道路が半分石垣でふさがった状態となっている。見通しとして国事業の時期との関連を教えてください。
  - ✓ （復旧事業課より説明）地域防災崖崩れ事業であるが、業者が決まり、工期内には完成する予定。
- Lの幹線道路については、地区としては優先順位が高い。一部狭い部分があり軽自動車の離合もできないが、本事業で対応できない場合、どのように対応すればよいのか？
  - ✓ 今回は避難路につながる道路を選定したが、精査して追加が必要な場合は対応する。
- 幹線道路で離合できなければ、幹線道路ではない。地区と相談後、事業を考えてほしい。平田地区はゼロ回答が多いので是非前向きに考えてほしい。

### 福原北部の提案事項について

- B路線は、記憶の継承委員会での議論とも関連する。今後、住民と一緒にやっていくことの工夫を考えてほしい。
  - ✓ 福原北部B路線は避難路としての整備は難しいが、震災遺構との関連もあるので、他事業で進めることを検討する。

### 提案による整備について

- 各地区からの提案は、それぞれ1件は事業化されるのか？
  - ✓ 道路拡幅には合意形成が不可欠である。進めて行く中で、事業化が難しい場所も出てくると思う。合意形成の状況によって、地区内での優先順位は調整していきたい。
- まち協からの提案が挙げられた。時間をかけて作った。せめて1つくらいは事業化してほしいというのが、委員の願い。

## 【委員決議】

- 復興まちづくり計画についての説明、質疑応答が終了した。内容についてご承認いただけるか。

【全員了承】

- 避難路・避難地の事業進行について（議事次第3・③）

事務局より説明。（以下概要）

- 補正予算がついた。小規模住宅地区事業は主に集落事業、都市防災総合推進事業は主に都市部での適用を考えている。
- 今後は地区との合意形成が不可欠。これから地区との合意を進めて行きたい。
- 次年度のまち協運営についても補助が付いた。コンサルタントの選定をし、地区に説明を行って行きたい。

- 全体を通しての委員討議

- 今回の地震で消防団の必要性が身に沁みて分かった。今回のまちづくり計画を消防団の班長会議で周知してほしい。
- 今回の事業は国の補助事業である。その上位計画は復興計画である。幹線道路網の計画も睨みながら進めて行きたい。
- 各委員からも意見をお願いします。
  - ✓ 復旧事業課長。まち協からの提案を図りながら、復興整備課と連携して進めたい。
  - ✓ 水道課長。復旧工事の進捗率について。3月末で78%の契約が終わった。来年度までに工事を全て終わらせる予定。懸案事項は入札の不調不落である。他自治体の協力を得てすすめている。
  - ✓ 下水道課長。被災管路の復旧事業を行っている。来年度上半期には竣工を迎えることができると考えている。
  - ✓ 都市建設課長。今回、道路関係の提案が上がっているが、4m未満の道路は他にもたくさんある。毎年、要望が上がっていたが手つかずの状態であった。なるべく補助は使いながら、単費での事業も進める必要があり、町としての方向性を考えて行く必要があると考えている。測量でも現場が動き出せば安心されるので、進めて行きたい。
  - ✓ 生涯学習課長。社会教育施設の復旧を進めている。文化会館、交流情報センターの改修に次年度以降入っていく。公民館の再建はまち協と連携して進めて行く必要があると考えている。断層についても活用のための委員会を進めて行きたい。
  - ✓ 産業振興課。農政関係では農業者への支援を行っており、進捗率8割である。商工観光でもまちづくりと連携して賑わいづくりを進めて行きたい
  - ✓ 企画財政課。都市防と小規模で19億円の予算である。町の負担は少なくなっている。通常予算編成ではなく、補助を活用して町負担を減らしていきたい。

- ✓ 危機管理課。避難路について。地域防災計画では避難路につながるすべての道路を避難路として指定している。整備は危機管理課ではできないので、他課の協力を得たい。
  
- 傍聴のまち協会長にからも意見をいただきたい。
  - ✓ 榎島地区の代表。真摯に検討いただき、感謝申し上げます。道路の事業化について、合意形成ではまち協も協力したい。榎島としては災害公営住宅に力を入れたいので、別専門部会での議論を期待する。
  - ✓ 上陳・下陳・北向地区会長。地区のことは消防団が一番わかっているという話があった。是非、消防団にも声をかけて若者が出てくるようにして行きたい。協議会を進める環境を充実して頂ければ、コンサルタントに頼らなくても自分たちでできることは自分たちできると思うので、環境整備もお願いしたい。

以上